
1 0 5 9

しゃヴえ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

1059

【Nコード】

N7737X

【作者名】

しゃヴえ

【あらすじ】

無効神話。私の砦。私の世界。

* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
0 天国はあるのか、ないのか。それはどこか。
1 愛したそれを私は手に。咲くよ咲くよ花が。
2 四角。四より三。四はスキだけど三が良い。
3 まがい物でしょう。そうそれ。それこそ私。
4 流し込んだそれは多分、沢山のバライバラ。
5 獅子は踊る。落とし子呑まんと獅子は踊る。
6 透明水彩に慣れることが出来ない私は緑色。
7 七が好き。ナナエの七。私の名前は、七絵。
8 無効神話に意味はなく、何も残さないお話。
9 嘘をつかなきゃ私は書けない。これは本当。
0 喉が痛い。吐き気。切って中を覗きたいよ。
1 想像力は時として、私達を殺すわ。嬉しい。
2 大好きな十三番。ここで終われば私は安心。
3 でも、終わらないんだよこの世界は。最悪。
4 寒い部屋、私は何故書くのか。わからない。
5 指がかじかむわ。足先の感覚は既にないわ。
6 何故書くのか。無効神話にすぎる私は阿呆。
7 今日も空は青く、青く、青く青く、吐き気。
8 芸術家気取りの私はただの馬鹿でしかなく。
9 先に進めない私を笑う私の為の自虐系文章。

笑いが止まらない。馬鹿馬鹿しいわ。死にたくなるわ。
こんなのお話じゃない。こんなを書いて楽しいわけがない。
でも進むわ。それが無効神話。無効神話は私の砦。誰にも邪魔は
させません。

さあ、書け。書け。書け。

* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
0 彼の名前を私は知らない。でもそれが普通。
1 彼についてわかる事なく、知る事も出来ず。
2 それがこの世のルール。素晴しきかな普通。
3 だけど、それで世界が許すはずもなく私は。
4 衝動を抑えきれず、指を止める事が出来ず。
5 貴方の欠片を探り始めるわ。それが私の愛。
6 貴方が好き。好きで好きで喉が裂けそうよ。
7 数字の七は刈り取る数字。私の嫌いな数字。
8 こういう縛りがあってこそ、私が生じるの。
9 だから許して。私を書くには箱が必要なの。
0 これが私の、私の世界。箱庭の世界なのよ。
1 ああ、憎い。あの赤が憎い。私は昼が嫌い。
2 階段を上がり、空の一番高い所から、私は。
3 真夜中の公園は、誰もいなく、静かで好き。
4 きっと、夜が貴方も好きになるわ。絶対に。
5 私だけの世界が欲しい。そこに私と貴方で。
6 私は貴方に言うの。私の為だけに書いてと。
7 でも、私の世界に貴方を呼ぶことは出来ず。
8 それでも私は書く。貴方の為の無効神話を。
9 恥知らずもいいところ。私は皆に笑われる。

二つの箱は用意できた。あと二つ。

無効神話は私の世界。彼の為に書き綴る下衆なお話。

さあ、読んで。読んで。読んで。

私の名前を呼んで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7737x/>

1059

2011年10月20日23時07分発行